

京都大学「木文化プロジェクト」最終報告会 in 仁淀川町

森と川と ともに暮らす 里の未来

主催：京都大学フィールド科学教育研究センター・仁淀川の“緑と清流”を再生する会
後援：高知県・仁淀川町 助成：日本財団

平成 25 年

11/10 (日) 14:00~17:00

高知県仁淀川町

池川コミュニティセンター 4 階ホール

〒781-1606 高知県吾川郡仁淀川町土居甲 916-3

☎ 0889-34-2111 (仁淀川町役場池川総合支所)

申込み
不要

参加費
無料



— 仁淀川町からの発信。
『森里海連環学』の
これまで、これから。

お問い合わせ・連絡先

京都大学フィールド科学教育研究センター
仁淀川の“緑と清流”を再生する会

☎ 075-753-6434 e-mail proshien@kais.kyoto-u.ac.jp
☎ 090-1572-2907 (橋本)

京都大学「木文化プロジェクト」最終報告会 in 仁淀川町

森と川とともに暮らす里の未来

— 仁淀川町からの発信。『森里海連環学』のこれまで、これから。 —

第 1 部

はじめに

14:00～14:40

14:00 開会のご挨拶

吉岡 崇仁 京都大学フィールド科学教育研究センター・センター長・教授（木文化プロジェクトリーダー）
奥田 英雄 仁淀川の“緑と清流”を再生する会・会長
大石 弘秋 仁淀川町長

14:20 「仁淀川で木文化プロジェクトがめざしてきたもの」

長谷川 尚史 京都大学フィールド科学教育研究センター・准教授（木文化プロジェクト仁淀川リーダー）

研究報告

14:40～15:50

森からの報告

14:40 「間伐による土壌保全効果と混交林化の可能性について」

深田 英久 高知県立森林技術センター・主任研究員

川からの報告

15:00 「仁淀川の水質と森林伐採」

福島 慶太郎 京都大学フィールド科学教育研究センター・特定研究員

里からの報告

15:20 「30年後の仁淀川町の未来像を描いてみよう」

大川 智船 京都大学フィールド科学教育研究センター・技術補佐員

・ 発表者への質問・意見交換タイム ・

第 2 部

— 休憩 —

ディスカッション

16:00～17:00

未来への提言

16:00 木文化サロン・みんなで話そう、未来のことを。

コーディネーター：長谷川尚史（京都大学フィールド科学教育研究センター）

パネリスト：園山幹雄（仁淀川の“緑と清流”を再生する会）・大原栄博（池川木材工業）

植木明彦（仁淀川漁業協同組合）・西森善光（仁淀川森林組合）

17:00 閉会

最終報告会の開催にあたって

京都大学フィールド科学教育研究センターでは、2009 年度から約 5 年間、地域の皆様や各種団体をはじめ、仁淀川町や高知県等の行政機関のご協力を得て、仁淀川流域の自然と社会の持続的なあり方を森里海連環学の視点から模索する「木文化プロジェクト」に取り組んできました。

本シンポジウムでは、私たちがこれまで行ってきた仁淀川流域の森、川、里に関する調査結果や住民会議の報告を中心に、仁淀川町の豊かな森、美しい仁淀川とともに、人はどのように暮らしていけるのか、その未来について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。お誘い合わせの上、ぜひ会場に足をお運びください。

※「木文化プロジェクト」の正式名称は、文部科学省概算要求事業「森里海連環学による地域循環木文化社会創出事業」です。